

ひとりのため
みんなのため



大洲市

No.110 2014年3月号

社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>

大洲社協

検索



ふれあい・いきいきサロン 元気に活動中!



絵手紙サークル
椿の会 (喜多)



袖木げんきサロン
(肱南)



おしゃべりサロン
(喜多)

ふれあい・ いきいき サロンとは

高齢者や障がい者が
気軽に身近な集会所
等に出かけ、仲間
とおしゃべりなど
して楽しい時間を過
す活動のことです。
サロンに参加すること
は、気持ちに張りを与え
閉じこもりの予防や健康
維持に大きな効果があり
ます。また、活動を通し
て地域の絆も深まり、明
るく住みやすい地域づく
りの推進にもつながりま
す。
平成二十五年度には大
洲市内で上掲の三つのサ
ロンが新しく立ち上がり
ました。
サロンを立ち上げたい、
または、サロンについて
もっと詳しく知りたいと
いう方は、大洲市社会福
祉協議会 地域福祉係ま
でお問い合わせください。

平成二十五年度 災害ボランティアセンター 中核スタッフ養成 被災地研修(女川町社協) 活動レポート

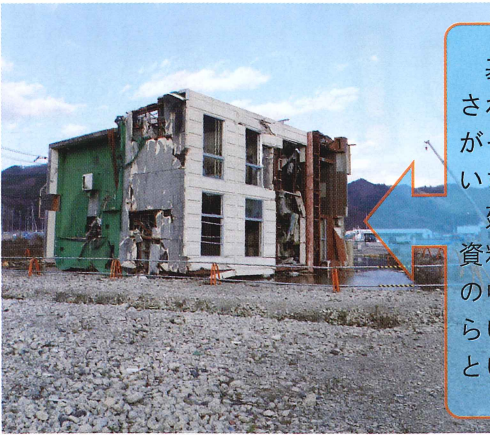
大洲市社会福祉協議会 地域福祉係 主査 黒江雄一

愛媛県社会福祉協議会(以下、県社協)では、平成二十五年度から三年の計画で「災害ボランティアセンター 中核スタッフ養成研修」を開催しています。大規模災害が発生した際に社会福祉協議会(以下、社協)には災害ボランティアセンター(以下、災害VCC)を設置・運営する役割が期待されています。本研修では、各市町社協に中心となるスタッフを養成することを目的に実施されています。

今回は、その一環として、宮城県内の被災地社協二か所での研修・支援を行いました。大洲市社協からは、十二月二日から五日間の日程で宮城県牡鹿郡の女川町社協にて社協活動の支援と研修を行わせていただきました。私自身、東日本大震災後初めて被災地に入りましたので、知っていた震災直後の様子などについての情報は、内部の報告会や研修会、メディアからのものが主でした。しかし、震災後二年九カ月(平成二十五年十二月現在)が経過した現在では、現

地の生活状況を把握する機会は減ってきていると感じていました。本研修会に参加し、大変貴重な体験をさせていただけだと思います。その内容を報告させていただきます。

基礎ごと津波で倒されてしまった銀行がそのまま残されています。建築学的に貴重な資料であるが、住民の中には、当時のつらい感情を思い出すという方も……。



まず、女川町内の様子についてですが、被災した女川港に近い中心部では、いまだに多くの工事用車両が走り、港周辺の埋め立て・かさ上げ工事が行われていました。しかし、満潮時には浸水したり、貴重な研究資料として津波により倒壊した建物があるまま残されていたり、更地のままになっていたりと震災前の生活に戻るにはまだまだ長い年月が必要であることを感じさせられました。

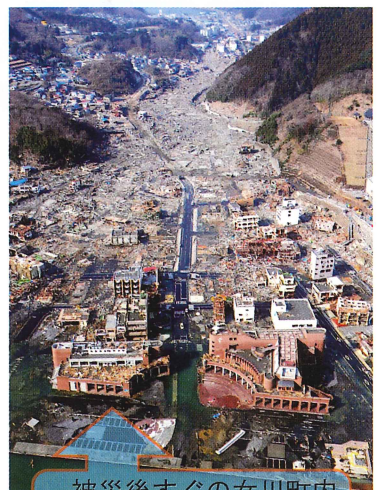
赤線の高さまでかさ上げをして、住宅地等として再利用が計画されています。



現在の女川町内の様子



海拔16mの高台にある女川町地域医療センターの玄関にある津波の到達の高さを表す目印。1階床から195cmのところまで浸水しました。



被災後すぐの女川町内の状況が収められた写真が飾られていました。

今回の活動の一つの大きなテーマとして、住民と交流する中で、現在の女川町住民が抱えている生活課題の把握やニーズ調査を行い、今後女川町社協が見直しを予定している地域福祉活動計画の策定に繋げられるような社協活動の支援をすることを掲げさせていただきました。そこで今回は、愛媛県内の社協職員メンバーが企画し、女川町社協や実施地区の自治会等の協力を得てサロン『えひめ茶屋』を開催しました。一日限りの開催ではありませんが、今後住民の主体的な取り組みの一つとして交流・憩いの場が続いていくことを願い実施させていただきました。



サロン『えひめ茶屋』の様子。
レクリエーションで方言クイズを行い、お互いの言葉の違いをネタに楽しみました！！

石巻市内にある女川町と石巻市を結びバイパス予定地に建てられた仮設住宅に居住する住民を対象に、二か所の集会所で同時開催し、合計で四十八名の方に参加していただきました。当日は、地域住民の方々にもボランティアとして運営をサポートしていただきました。愛媛県の特産品であるミカンや新宮茶、しぐれなどに舌鼓を打ちながらわきあいあいとした雰囲気の中で交流を深めました。



えひめ産のみかんや大洲銘菓しぐれなどを一緒に食べながら、コミュニケーションを図りました。

今回は、五日間という限られた時間ということもあり、当初、支援チームが予定した目標にはなかなか及ば

ない部分もあり、反省点なども多数ありました。しかし、今回、実際に現地へ赴き、様々な条件や環境の中で生活する女川町住民の方と交流を図ることができたものもあり、改めて学び考えさせられることの多い被災地研修になったと感じています。

それは、女川町住民の思いは、その方の置かれている状況によって様々であり、復興に対する希望や思いも様々であるということでした。元の地区に戻りたいけれど土地開発の状況が進まず戻ることができない方、今後の生活を考える止む無く町外での生活を選択する方、災害公営住宅への入居が決まり新たな生活環境への期待と不安が入り混じる方など、思いは十人十色であると感じました。そのような中、私は、生まれ育った女川町を愛し復興を願う住民の方々の気持ちに触れさせていたただいたとともに、仮設住宅で初めて出会った方同士であっても既にそこで見守り・助け合いがされているのを見て「人の繋がりの温かさ・大切さを改めて教えていただきました。被災地の復興は、まだまだ長い道のりだと思えます。私たちにできることは、被災地の状況を忘れないでそのペースに合わせて寄り添いながら見守り、そっと支えていくことなのではないかと感じました。個人的にも今回の研修を通じて、新たな出

会いとネットワークを広げることができたのではないかと思います。一人ひとりの力ではできないことは限られているかもしれませんが、みんなが少しずつできることを考えて行動することで、小さな変化や進化を起すことはできるのではないかと思います。

今回の研修の実施にあたり、女川町社協の皆様にはお忙しいところ大変お世話になりました。今後とも、同じ社協職員としてのネットワークを活かして、情報交換・交流を続けてお願いいたします。

最後になりましたが、今回のサロン『えひめ茶屋』の開催のために大洲の名産品を提供していただきました大洲商工会議所をはじめとする関係者の皆様ありがとうございました。



最後に、女川町社協のみなさんと一緒に記念撮影！

平成 25 年度 共同募金配分(老人のひろば事業)報告

みなさまのまごころで集めていただいた共同募金の配分金は、地域で有効に使われています。本年度は、下記の地区社会福祉協議会がミニデーサービスやサロンなどで利用される備品の整備を行いました。お問合せにつきましては、大洲市社会福祉協議会 本所までご連絡ください。

肱南地区社会福祉協議会

液晶テレビ ブルーレイプレイヤー テレビ台

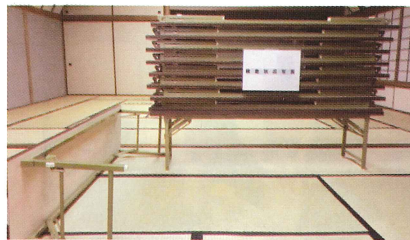
音楽や映像を流すことにより、大きな声で合唱したり、映画鑑賞したりできるようになりました。



肱北地区社会福祉協議会

座椅子用のテーブル

和室での様々な会にもたくさんの高齢者が参加でき、食事の際のストレスも少なくなりました。また定期的な外出が出来る事で意欲向上にもつながっています。



河辺地区社会福祉協議会

正座イス

「これは楽だ!」とサロンに参加された方が喜ばれていました。今後も高齢者の意欲向上が期待されます。



平野地区 社会福祉協議会

座敷用椅子

和室で座れる座椅子を購入することにより、参加者の足の痛み軽減が図れるとともに、積極的なサロン参加ができるようになりました。



三善地区 社会福祉協議会

液晶テレビ

映画や研修DVDなどの観賞会を定期的に行うことにより、交流や親睦が一層図られるようになりました。



新谷地区社会福祉協議会

ガステーブルコンロ

安全機能のついたコンロに新調したことにより、高齢者事業等を円滑かつ安全に実施できるようになりました。



長浜地区社会福祉協議会

和座敷用サポートチェア

足に痛みのある参加者も立ち居が楽になり、サロンをより楽しんでいただけるようになりました。



平成 25 年度 在宅福祉推進員連絡会並びに福祉サービス利用援助事業生活支援員研修会開催

平成26年1月18日(土)、大洲市総合福祉センターにおいて、標記の会を開催しました。今回は「認知症の方が安心安全に暮らすために地域で出来ること」をテーマとして、近藤誠先生(西条市役所高齢介護課副課長、認知症サポーター100万人キャラバン作業部会委員)にご講演いただきました。認知症を理解すること、地域で優しく見守ることの大切さを笑いを交えお話していただきました。

参加者の皆さんの笑顔が地域に届けていただけたらと思います。



近藤 誠先生



認知症サポーター研修も兼ねました。

まごころのおくりもの 12月分

金銭の部（一般分）

草莽の一蛸様 大洲市
大洲歌唱クラブ
会長 後藤 脩身様
東大洲
大洲市ソフトボール協会
会長 石田 彰様
田口

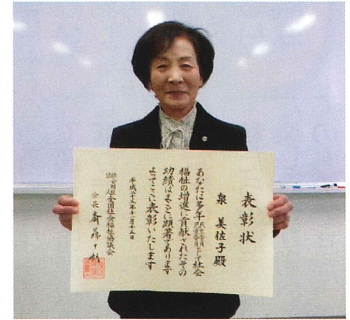
（指定分）

《平野地区社協へ》
永見 淳様 平野町
《南久米地区社協へ》
堤 慎一郎様 北 只
《菅田地区社協へ》
二宮 康嗣様 菅田町
中野 安孝様 菅田町
上田 妃史様 菅田町
《新谷地区社協へ》
亀井 隆様 新谷町
《上須戒地区社協へ》
田中 秀一様 上須戒
高岡 ミサ子様 松山市
《長浜地区社協へ》
徳永 美代子様 長浜町
笹本 慶子様 長浜町
《大洲市平公民館へ》
菊地 栄子様 徳 森
《愛媛県立大洲高等学校
吹奏楽部様へ》
社会福祉法人 大洲育成園
理事長 澤井 尚様
市 木
《山本 久幸様へ》
社会福祉法人 大洲育成園
理事長 澤井 尚様
市 木

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

受賞おめでとうございます！

平成25年11月15日（金）、日比谷公会堂（東京都）にて開催された「平成25年度全国社会福祉大会」（主催：厚生労働省、全国社会福祉協議会、中央募金会）において、泉美佐子さん（八多喜町）が全国社会福祉協議会会長表彰〈民生委員・児童委員功労者〉を受賞されました。それに伴い、平成26年1月10日（金）、大洲市総合福祉センターにおいて、泉さんへの表彰状伝達式が執り行われました。
心よりお祝い申し上げます。



介護職員 初任者研修講座 受講生募集のお知らせ



主催：株式会社 新風会
期間：平成26年4月5日～平成26年6月28日

・4月5日～5月29日
毎週：火・木曜日 午後6時～午後9時
土・日曜日 午前9時～午後5時30分
・6月2日～6月13日の期間中に1日の見学実習あり

募集人員：40名

申込締切：平成26年4月4日（金）

※ただし、定員になりしだい締め切ります。

受講料：40,000円（テキスト代5,900円は別途）

研修場所：株式会社新風会プレスロービル2F研修室
株式会社新風会内グループホーム、有料老人ホーム

＜申込・問合せ先＞

株式会社 新風会 大洲市徳森字野田1477番地1
TEL0893-25-6132（担当／二宮）

協力会員の みなさまへ

大洲市地域福祉サービス事業（新介護キップ制度） 平成25年度 活動報告書提出のお願い

本年度中（平成25年4月1日～平成26年3月31日）に実施された活動がございましたら是非活動報告書のご提出をお願いいたします！

＜お問い合わせ＞

提出期限は平成26年4月9日（水）です。

大洲市社会福祉協議会 地域福祉係 電話／23-0313

おおずのボランティア
紹介コーナー

ここでは、大洲市でがんばっている
ボランティアを紹介していきます。

第10回 虹の会
会長 笹田 恒男



《どんな団体・活動ですか》

知的障がい児(者)の親の会です。様々な交流会、勉強会を開き会員相互その他の団体との交流・親睦・障がい児(者)の社会参加を目指して活動しています。会員数は親子合わせて二十一名で、太鼓に取り組んだり、季節ごとに花見、焼き肉、いもたき、クリスマス会等を行っています。参加については、したい時に参加し休みたい時は自由に休むというスタイルです。

《発足とあゆみ》

愛育ホーム通園のメンバーが中心になり、平成三年に会を立ち上げました。立ち上げに至るまでには、県の児童心理司から、「親は子どものためにも内に籠らず外に出て体を動かせる活動をし、町の人たちに存在を見てもらいたい。」という助言の後押しもありました。設立当初、メンバーで活動の仕方について考えたことに、「親たちだけでは苦しまつてしまう。外部ボランティア等の協力を得たり、交流しながらやって行こう。」ということがありました。その頃はまだ知的障がい児(者)をバックアップするボランティアが少ない状況ではありませんでしたが、障がい者施設の先生に音楽療法をボランティアでしていたのだらりと、外部の方たちと繋がりがのび活動がスタートしました。活動内容は子どもの成長に合わせて変化してきましたが、今でも根底にずっとある大きなテーマとして、施設や学校で過ごす時間以外の「余暇をどう過ごすか」ということがあります。

《活動の楽しみ・魅力》

私たちの活動は、日常のちよっとした楽しみとか潤いといったものを求めているのですが、これも一人(個々の親子)だけではなかなか出来ません。

お出かけすることひとつにしても準備や気構えが必要だったり、気持ちの面でも一人では内に籠ってしまいます。皆と一緒にやるからやりたいこともやってみようかと思えるし実現も出来るのだと感じています。

太鼓への取り組みも楽しいことのひとつです。ご指導くださる先生が、まず「叩いてごらん。」から始まり、ひとりひとりに合わせた、各々の自由な感性をそのまま表現できる太鼓にしてくださいるので、そこから生まれる演奏もとっても面白いものになります。毎年内子座での発表会に参加しています。

このように社会に向かつて発信することでも大事だと思いますし、活動の張りにもなっています。今後はこの太鼓の仲間をもっと増やせたらいいねと話合っています。



《思い・メッセージ》

虹の会の活動は、続けることに意味があると思っています。何とも長いスタンスで見て、したいことを皆が楽しく「自由な発想でのびのび」とを信条に活動して行きたいと思っています。

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会(本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談(要電話予約)】毎月第1・3火(3月4日と3月18日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで) ※祝日を除く
長 浜 支 所	3月28日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	3月 5日(水) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	3月10日(月) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
お問合せ先	本 所 ㊚23-0313 (代表、弁護士相談予約) ㊚23-5629 (相談室直通) 長浜支所 ㊚52-1194 肱川支所 ㊚34-2312 河辺支所 ㊚39-2510